

# 海の事件・事故は118番へ

「見てください！触れてください！海上保安庁」

海上保安庁七管支部情報誌

## わいわい7(セブン)



平成17年10月28日  
(第30号)  
編集 海上保安友の会  
七管支部事務局  
浦野  
(編集長 山本 裕一)  
093-321-2931 内線2111

10月になり朝晩の冷え込みが気になるようになってきました。15日には、第七管区海上保安本部総合訓練が秋晴れのもと実施されました。乗船された会員の方々、今年度の訓練はいかがでしたでしょうか？この日だけは熱い1日になったことと思います。

## 七管トピックス

### 平成17年度第七管区海上保安本部総合訓練 —心配された午前中の雨もあがり、秋晴れのもと実施—



不審船対策訓練中の「あそ」と「ほうおう」  
(写真手前が、ほうおう)



高速連携機動訓練中の「あそ」と「ふくえ」と「はまちどり」  
(写真手前が、あそ)

10月15日実施の第七管区海上保安本部総合訓練は、午前中に降っていた雨も、受付が始まると同時にあがり、総合訓練は秋晴れのもと穏やかな海上で実施されました。

訓練には、今年度に当管区へ新たに配属された2隻の新型巡視船「あそ」と「ほうほう」に注目が集まり、「高速連携機動訓練」で、疾走する両船の姿が鮮やかに格好良く見えたことと思います。また、「密輸容疑船捕捉訓練」での警告投てき具による停船措置や「不審船対策訓練」での機銃による威嚇射撃等の迫力には、乗船者一同の目が釘付けとなるなど、周防灘に驚きと感嘆の声が響き渡っていました。

限られた時間、限られた海域での訓練でしたので十分紹介できなかったところもあったかと思いますが、はるか海上で当庁がどのような業務を行っているのか、その活動の一端をご紹介できたものと思っております。今後とも皆様のご支援よろしくお願ひいたします。

また、今月号では、友の会会員の徳野様と一般公募で乗船された安部様から貴重な映像のご提供がございましたので、会員の皆様に総合訓練のフォトグラフとして同封しておりますのでご笑納下さい。

## 対馬沖でまたもや貨物船が炎上・漂流

### 特殊救難隊員の活躍で漂流阻止に成功！！



炎上する貨物船

9月26日午後4時頃、長崎県対馬にある海上自衛隊基地から、対馬南約11キロメートルの海上で貨物船から煙りが出ているとの通報があり、巡視船艇4隻と機動救難士が搭乗したヘリコプターが出動しました。

貨物船は、中国青島から大阪向け航行中のコンテナ船(総トン数4,119トン、乗組員22名)ですが、乗組員22名(中国人)全員は救命ボートで脱出し、付近航行中の船舶に救助されました。

無人となった貨物船は、風速12~13メートル、浪の高さ3~3.5メートルの大時化の中漂流し、前号でご紹介した韓国貨物船と同様に、漂着、乗揚げるのではとの想いが脳裏をよぎりましたが、第三管区海上保安本部羽田特殊救難基地所属の特殊救難隊員が貨物船にヘリコプターから降下して乗り込み、漂着防止措置に成功しました。

貨物船は、特殊救難隊や当管区海上保安官により鎮火が確認された後、博多港へ曳航され、巡視船きくちを主体とした鑑識班による実況見分が行われました。

## 2000トン型巡視船（ヘリ甲板付高速高機能）！！

### ・ 二番船「あかいし」10月21日命名 進水式

10月21日（金）三菱重工下関造船所において、2000トン型巡視船（ヘリ甲板付高速高機能）二番船の命名 進水式が行われました。

わいわい7第29号でお知らせしたとおり、長官の名代である海上保安庁春成総務部長が、船名を「あかいし」と命名した後、支綱の切断を行いました。「あかいし」は、支綱の切断と同時にくす玉が割れ、進水台から海上へと滑り降りていき無事進水しました。

「あかいし」は今後、一番船である「ひだ」と同様に艦装を施したのち平成18年度に鹿児島海上保安部（第十管区）に配属される予定です。



命名前には船名が幕に隠されている



「あかいし」と命名され、船名幕が取り外された



進水台を滑り降り進水する「あかいし」

### ・ 一番船「ひだ」配属に向け艦装中



「

8月9日（火）に進水した2000トン型巡視船「ひだ」は、現在、三菱重工下関造船所で艦装中です。

平成18年度新潟海上保安部（第九管区）に配属される予定です。



只今艦装中です。

艦装中の巡視船「ひだ」

## インド沿岸警備隊（ICG）巡視船と連携訓練等を行います

### 「ICG巡視船 SAMAR（2,000トン）門司港入港、ICG長官来日」

平成12年度から日本とインドの巡視船が相互訪問していますが、今年度は、ムンバイ（旧名ボンベイ）を基地とするICG巡視船 SAMAR（サマール）が、11月15日（火）に門司港へ入港します。

ICG巡視船 SAMARが入港中は、巡視船「ちくぜん」がホストシップとして、連携訓練、スポーツ交流、レセプション等を行い、11月19日（土）に出港する予定です。

また、ICG長官が、ICG巡視船 SAMARの門司港入港に合わせ来日し、東京での日印海上保安機関長官級会合の後、七管区での連携訓練等の視察を行うこととなっています。



門司港に入港予定のICG巡視船	
船名	SAMAR（サマール）
総トン数	2,000トン
全長	105メートル
船長	DG KC Pande
基地	ムンバイ（旧名ボンベイ）
装備	ヘリコプター 1機搭載
乗組員数	150名

写真は、ICG巡視船 SAMAR（サマール）と同型船の SANGRAMM（サングラム）です。」

ICG：INDIA COAST GUARD の略

次号は11月下旬を予定しています。

< 編集後記 >

「わいわい7」の編集にあたり、会員皆様のご意見やほのぼのとした写真、みんなが楽しんでいるような写真、俳句、絵、まんが、感想等々がありましたら、下記宛投稿方願います。皆様の投稿をお待ちしています。(投稿していただいた方には粗品を贈呈いたします。)

皆様方のお近くに、海上保安友の会に興味を持たれている方、また、新規に友の会に加入したい方がおられましたら、是非、事務局までご一報下さい。

別途「案内書」を送付いたします。

(各種イベントにお越しの際は、会員証を持参してください。)



海の事件・事故は118番へ